

裸の女性3人が足を組んで待っている時空の穴に迷い込んだカズト 女性があっという間に妊娠し・・・

先日はこの辺だったのかな・・・？

カズトは道を歩き、周囲を見渡した。

虫の鳴き声がせわしなく街全体を取り囲む、夏の初めである。

仕事は休み。風が涼しく心地いい。爽やかな気持ちでふと振り向いてみる。

すると、100メートルほど先に小さな橋が架かっている。逆側を見ていたの
で通り過ぎたときは見ていなかった。確か先日友人のユウキと釣りをしたのは
あの辺だとカズトは思い返した。

ユウキと行くときには珍しい大きい魚が釣れたな、そういえば。

数日前を思い出しながら歩くカズトは、突然後ろから足を引っ張られるよう
な感覚に陥った。

よく言うところの落とし穴のような溝にはまったのだ。

後ろ吸い込まれるように中へ中へと入っていく。

長いプールのまるでウォータースライダーのようなぬかるんだ土の滑り台を滑っていくと・・・。

腰を強くふつけた。固い地面ではないようだ。どこかにたどり着いたようだ。

下を見ると少し色のところどころはげ落ちた赤いマットの上。

薄暗いがぼんやりと見えた。

ハッと顔を上げると、目の前のソファに3人の女性が座っている。

その周囲は土の中とは思えないほど、しっかりと壁などの敷設された空間。

どこかの家の応接間のような感じだ。

向かって右から二人目までの女性が足を組んでいる。一番左の女性はパカッと股を広げている。3人とも下着姿だ。3人とも薄い青の下着を穿いている。まだ若く、十代から二十代はじめに見えた。真ん中の女性は組んでいた足をほどき、カズトにゆっくりと近づいてくる。とてもセクシーな歩き方だ。モデル歩きのような感じ。

そして腰をかがめてしゃがんでいるカズトを見下ろした。

何が起きているのかさっぱり把握できていない。

カズトは思い出した。

そう言えば・・・・・・・・。

この辺りはインターネットで見た都市伝説で、時空の扉があるとか何とか噂されていたのだ。

自分の地域をエゴサーチするのはよくあること。たくさんその都市伝説がこの周囲の地域にはあるようで。

女性3人は悶々としている様子。

今自分がいる状況が時空の扉なのかどうかは置いておいて・・・・・・・・。

更に思い出す。

一時間前、親もそう言えば言っていた。

あのあたりは危険よ・・・・・・・・。と。

昔から怪しい噂が噂されているらしい。

ネットの都市伝説もそこから派生しているのだろうか。

体験版は以上になります。
